

垂直式



認定型式番号
ふ V-001号

Hiスコorder I型

救助袋

取扱説明書

- このたびは、当社の製品をご採用いただきありがとうございました。
- お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、所定の場所に保管してください。
- ご担当者の方などが替わる場合は、必ずお引き渡しください。

齋田産業株式会社

本社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-6 大宮第2ビル
TEL.(03)3291-4141(代) 3292-8586(代) FAX.3292-8588

北海道営業所 〒063-0812 札幌市西区琴似2条7-2-37 大洋ビル
TEL.(011)641-4161(代) FAX.631-1403

生産工場

北海道第1工場 〒047-0015 小樽市住吉町6-1
(小樽) TEL.(0134)32-1414(代) FAX.32-1412

生産工場

北海道第2工場 〒079-8417 旭川市永山7条1丁目4番21号
(旭川) TEL.(0166)22-8440(代) FAX.22-8441

組立工場

江戸川工場 〒134-0082 東京都江戸川区宇喜田町1238番地
TEL.(03)5658-7273(代) FAX.5658-7276

齋田産業株式会社

目次

- 安全上のご注意 1
- 構造と各部のなまえ 2
- 操作要領 3
- 警告及び注意事項 5
- 使用方法の手順 6
- 引き上げ・格納の手順 10
- 訓練などに使用する場合の注意 11
- 製造品ご案内 12

安全上のご注意

- ◆この製品を安全で正しくご使用いただくために、ご使用になる前に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、安全に関する内容を記載していますので必ず守ってください。
- ◆表示と意味は、つぎのようになっています。

表示 表示の意味



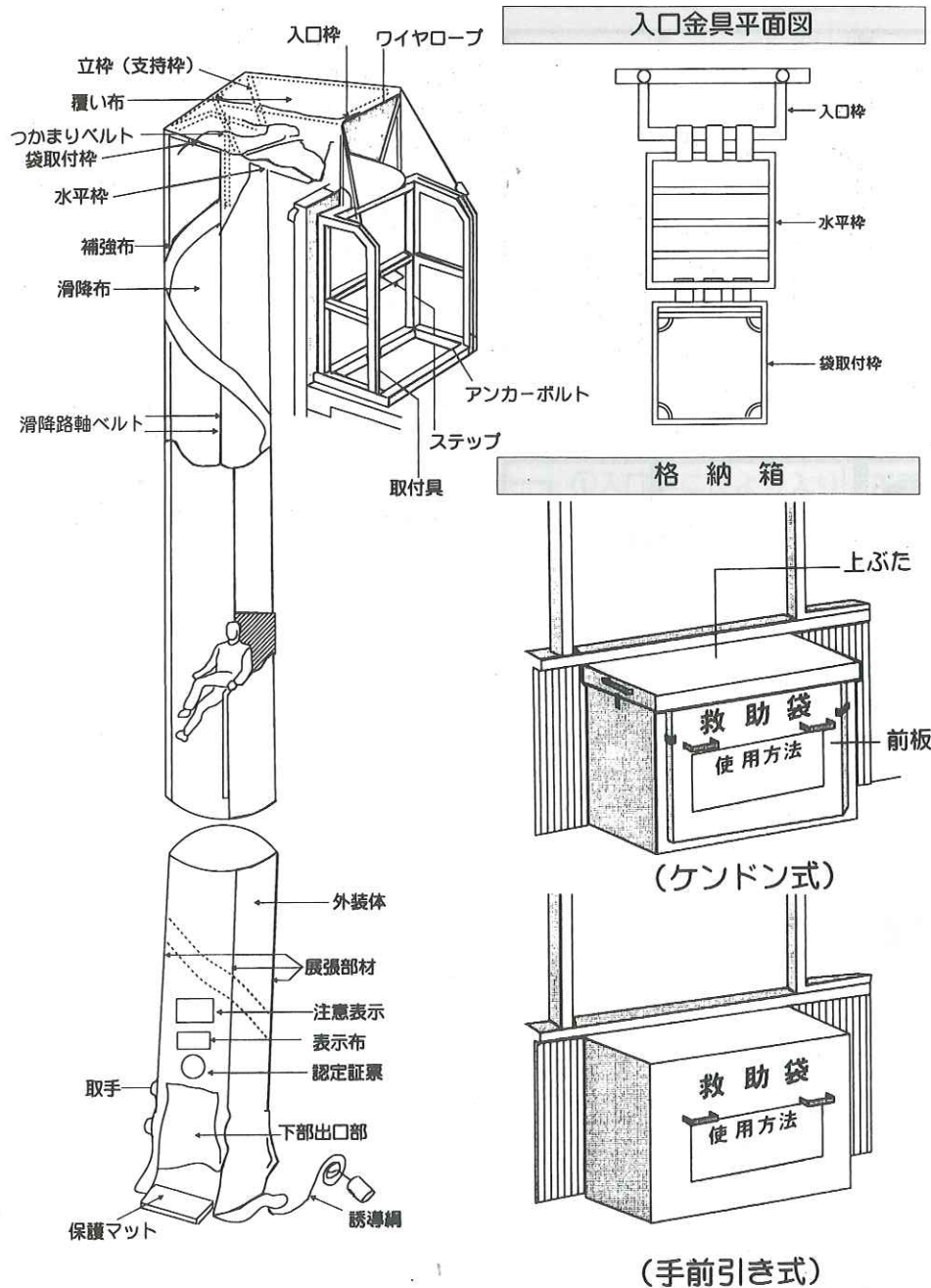
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財などの財産にかかわる損害をいいます。

構造と各部のなまえ



●操作の要領の手順は、日頃からおぼえておきましょう。

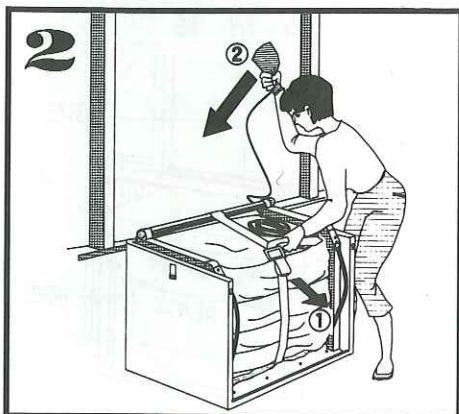
操作要領

〈ケンドン式〉



- ① 止め金具をはずす。
 - ② 格納箱の上ぶたを取り除く。
 - ③ 前板を取り除く。
 - ④ 窓を開ける。
- ⚠ 注意 / 止め金具に指をはさまれないこと。

〈手前引き式〉

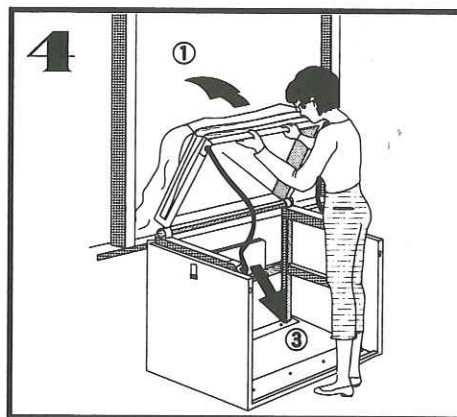


- ① 格納箱は取手を持って手前に引き取り除く。
 - ② 窓を開ける。
- ⚠ 注意 / 手前に強く引くと倒れる場合があるので、強く引かないこと。

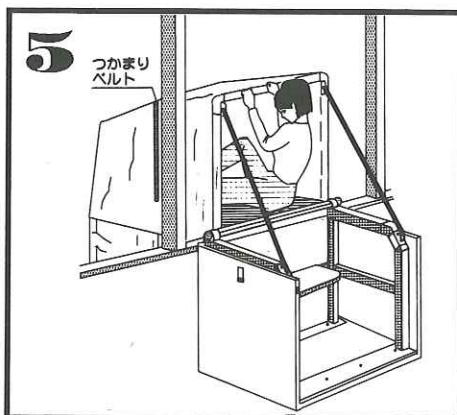


- ① バンドを手前に引く。
 - ② 誘導網についている砂袋を地上に投下する。
- ⚠ 注意 / 砂袋を投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物に引っ掛からないようにすること。地上に人が、いないことを確認する。

注意 格納箱の上には、乗らないこと。
また、物を置いたりしないこと。



- ① 入口金具を静かに起こし、正常に展張させる。
 - ② 袋の先端が地上に着いていることを確認する。
 - ③ ステップを手前に倒す。
- ⚠ 注意 / 入口金具を起こす時、取付具などに手をはさまれないこと。



- ① 入口枠に足より入り、正面にあるつかまりベルトを持ち、両足を揃えて、降下姿勢をとる。

⚠ 注意 / 降下者は袋の中に、頭から入らないこと。



- ① 袋の中の左側にある滑降路軸ベルトを左脇にはさみ、左回りに降りる。ひざを心持ち上げ、背及び腰部で滑り降りる。

⚠ 注意 / 降下中、急激に手や足を広げないこと。
出口では足が地面につくまで立ち上がらないこと。

警告及び注意事項



- 降下者は、袋の中には、絶対に頭から入らないこと。
- 降下の時に、腕や足などを急にひろげたり、突っ張ったりすると急ブレーキがかかることがあるので絶対にしないこと。



- 格納箱の止め金具などに指をはさまれないこと。
- 手前引きの格納箱を除去する時、手前に強く引くと倒れる場合があるので強く引かないこと。
- 誘導綱についている砂袋を地上に投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物に引っ掛らないようにし、地上に人がいないことを確認すること。
- 袋本体降下の時に、サッシの角やその他の障害物に引っ掛らないようにすること。また、袋本体が急速に落下することがあるが、手や衣服を巻き込まれないこと。
- 入口金具を起す時、2段・3段と伸長する金具を、伸長したままの状態に回転させると、開口部の上端にあたり回転できない場合があるのでしないこと。
- 袋本体を降下させる時、障害物などにより正常に展張されない場合は、袋本体を引き上げて降ろし直すこと。
- 入口枠に入る時、窓枠などに頭部をぶつけないこと。
- 降下中に、素手で滑降路軸などをつかまないこと。手・指を損傷することがあります。また出口部では、足が地面につくまで立ち上がらないこと。
- 入口金具を折りたたむ時に、手・衣服などをはさまれないこと。
- 袋本体を引き上げる時、サッシの角や、開閉用ストッパーなどの突起物に引っ掛けないようにすること。
- 使用の時容易に展張できるように、袋本体はつづら折りに格納すること。
- 止め金具が止まっていることを確認すること。
- 格納箱の上や周囲には、使用時に障害になるような物は、絶対に置かないこと。

使用方法の手順

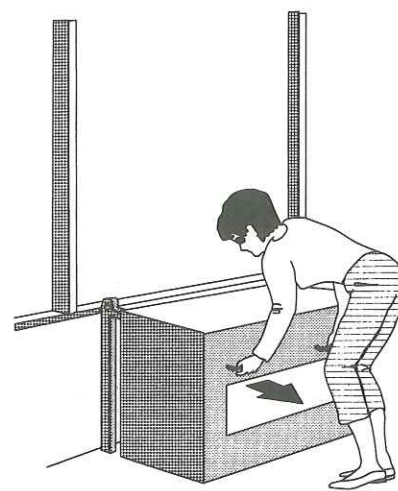
格納箱を取り外す



(ケンドン式)
止め金具を外し、上ぶたを取り前板を取り外す。

ケンドン式格納箱（上ぶたと前板を個々に取り外すタイプ）

- ア. 上ぶたの両側についている止め金具をはずし、取手を持って上ぶたを取りはずす。①②
- イ. 前板の両側についている止め金具を外し、取手を持って前板を取りはずす。③④
- ▲ 注意／格納箱の止め金具などに指をはさまれないこと。
- ウ. 救助袋の器具が取り付けである開口部（窓）などを完全に解放する。



(手前引き式)
手前に引く

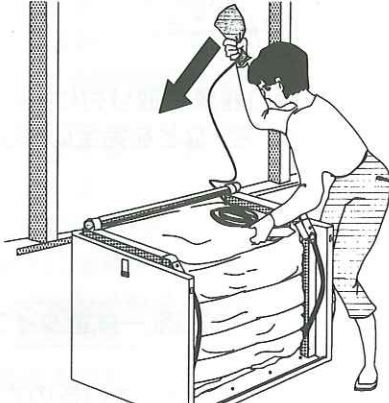
手前引き式格納箱(一体型タイプ)

- ア. キャスターがついているので、そのままの状態を取手を持って手前に引く。
- ▲ 注意／手前に強く引くと倒れる場合があるので、強く引かないこと。
- イ. 救助袋の器具が取り付けである開口部（窓）などを完全に解放する。

バンドを解く ①



誘導網についている砂袋を投げる ②



袋本体を降ろす ③



バンドを解く

ア. 袋本体をしめてあるバンドを手前に引き、バンドを解く。①

誘導網先端の砂袋を地上へ投げる

イ. マジックテープをはずし、誘導網先端の砂袋を地上に投下する。②

! 注意/誘導網についている砂袋を投下する時、ひさしや下階の屋根などの障害物がある場合は、引っ掛からないようにし、地上に人がいないことを確認すること。

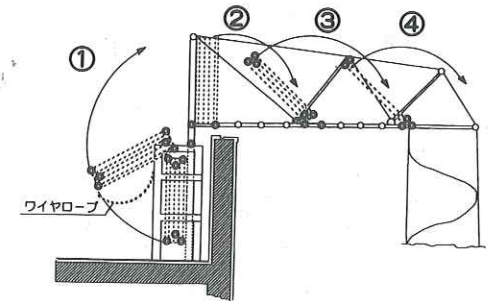
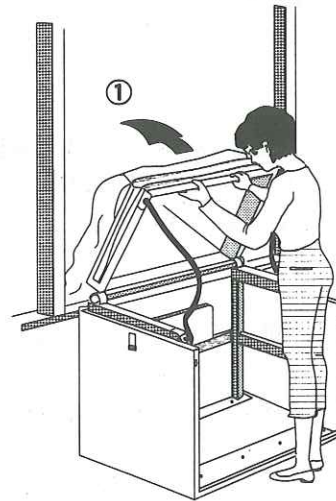
袋本体を降ろす

ウ. 袋本体を先端から徐々に地上に降下させる。③

! 注意/袋本体を降下させる時に、サッシの角やその他の障害物に引っ掛からないようにすること。また、袋本体が急速に落下することがあるが、手や衣服を巻き込まれないこと。

エ. 袋本体が完全に降下し終わったことを確認する。

入口金具は①～④の順序で伸長する。



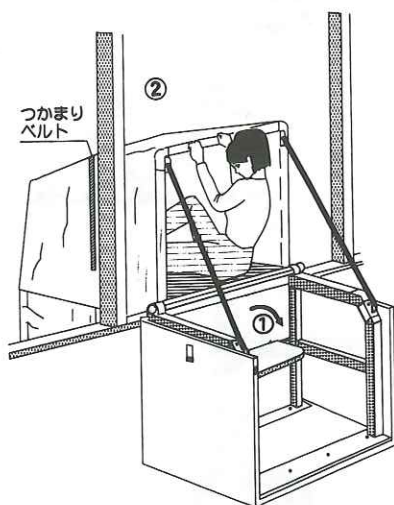
ア. 入口金具を起こす時、両側のワイヤロープ2本を持つか、または入口枠の下側部分のパイプを持って起こす。①

イ. 入口金具の2段・3段と伸長する金具は折りたたんだままの状態で起こす。

! 注意/入口金具を起こす時、2段・3段と伸長する金具のものを伸長させた状態で回転させると、開口部の上端にあたり回転できない場合があるのでしないこと。

ウ. 入口金具が静止し、正常な状態で入口枠、水平枠、袋取付枠、ワイヤロープが展張されているかどうかを確認する。また、2段・3段と伸長する金具の場合は、入口金具内側より立枠(支持枠)を伸長させ、全体が正常に伸長されているか内側・外側より確認する。

! 注意/袋本体を降下させる時、障害物などにより、正常に展張されない場合は、袋全体を引き上げて降ろし直すこと。



ア. 取付具に設けられている、ステップを手前に(90°)倒す。①

イ. 入口枠に足より入り、正面にあるつかまりベルトを持ち両足をそろえて降下姿勢をとる。②

⚠ 警告/降下者は、袋の中には絶対に頭から入らないこと。

⚠ 注意/入口枠に入る時、窓枠などに頭部をぶつけないこと。



ウ. 袋の中左側にある滑降路軸ベルトを左脇にはさみ、左回りに滑り降りる。ひざを心持ち曲げ、背及び腰部で滑り降りるようにする。③

⚠ 警告/降下の時に、腕や足を急に広げたり、突っ張ったりすると急ブレーキがかかることがあるので絶対にしないこと。

⚠ 注意/降下中に、素手で滑降路軸などをつかまないこと。手・指を損傷することがある。また、出口では、足が地面につくまで立ち上がらないこと。

ア. 取付具内のステップをもとに納める。

イ. 伸長している入口金具を先端より袋取付枠、立枠(支持枠)、水平枠の順序で折りたたみ、手前に引き込み取付具内に引き入れ収納する。

⚠ 注意/入口金具を折りたたむ時に、手・衣類などをはさまれないこと。

ウ. 入口金具を取付具に収めたのち、袋本体を引き上げる。

⚠ 注意/袋本体を引き上げる時、サッシの角や、開閉用ストッパーなどの突起物に引っ掛けないようにすること。

エ. 袋本体を完全に引き上げたら上部からつづら折りにたたみ、使用の時容易に展張できるように下部出口部を上へのせる。

⚠ 注意/使用時に容易に展張できるように、袋本体はつづら折りに格納すること。

オ. 誘導網は、もつれないように整理して、直径約25cmの輪に束ねてマジックテープで止め、下部出口部の上へのせる。

カ. バンドで袋本体を締める。

キ. ケンドン式の場合は、前板・上ぶたをはめ込み、止め金具を止める。手前引き式の場合は、もとの位置に格納箱をもどす。

⚠ 注意/止め金具が止まっていることを確認すること。格納箱の上や周囲には、使用時に障害となるような物は、絶対に置かないこと。



注意

訓練などに使用する場合の注意

1. 避難訓練の時は、極力点検業者または、メーカーなどの消防設備士、消防設備点検資格者などに立ち合ってもらおうこと。
2. 降下訓練は必ず、上部1名以上、下部出口部1名以上の配置をすること。下部出口部の要員は袋全体がよじれていないか確認すること。(出口部上方に「袋全体がよじれていないか確認のこと」と赤色で表示してある)
3. 降下訓練時は、必ず1人ずつ降下し脱出してから、つぎの人が降下すること。
4. 降下中に、すり傷などを受けるおそれがあるので、長袖・長ズボン・軍手などを着用し、ハイヒールなどのかかとのとがった履物では、降下しないこと。
5. 学校の避難訓練などで、児童生徒を対象に行う場合は、安全の為に出口部の下部及び前面に体育用マットなどの使用が望ましい。

製造品ご案内

当社は、防災設備をはじめ、消防服装などの繊維製品をすぐれた技術と厳しい品質管理のもとに、自社工場で製造し、皆様のニーズにお応え致しております。

別記製品のご用命は、何卒、当社まで賜りますようお願い致します。

製造品目

◇北海道第一、二工場◇

- ・ 諸官庁各種制服・救助服・防火服・作業服
- ・ 防寒衣・各種ユニフォーム
- ・ 各種救助袋(斜降式・垂直式・ハッチ用)
- ・ 消防設備点検業務・その他各種帆布製品

◇東京工場◇

- ・ 各種救助袋(斜降式・垂直式・ハッチ用)
- ・ 防排煙設備・各種避難器具設備工事
- ・ 消防設備点検業務・その他

◇中国工場◇

- ・ ファッションユニフォーム各種繊維製品

